

# 常任委員会の動き

## 第1 常任委員会

- 《平成23年10月18日・21日開催》報告及び審議事項
  - 議案第50号 市道路線の廃止及び認定について【総務部】
  - 9月の大雨による被害状況について
  - 平成23年度留萌市市民防災訓練の結果について
  - 留萌市管理職員による市税等の徴収実施状況について
  - 【政策経営室】
  - 平成22年度財政健全化項目の実績について
  - 平成23年度地域づくり総合交付金の内示額について
  - 広報紙のもしデジタル化事業について
  - るもい安心情報マガジン配信システム構築事業について
  - 留萌市所蔵記録写真デジタル化事業の実施について
  - 【産業建設部】
  - 専決処分（損害賠償）の報告
  - 経済港湾課所管事業9月末までの実施状況について
  - 米低温倉庫建設計画（JA南るもい）について【教育委員会】
  - 留萌小学校改築計画(案)説明会の概要について
  - 平成23年度市内小・中学校一斉避難訓練について
  - 平成23年度文化賞の贈呈について
  - 平成23年度子どもたちの芸術鑑賞事業について【各所管共通】
  - 10月補正予算について
  - 《平成23年11月18日・25日開催》報告及び審議事項【総務部】
  - 留萌市一般職員給与条例の一部を改正する条例制定について
  - 個人住民税に係る特別徴収の推進について
  - 平成24年度固定資産税評価替え作業について
  - 留萌市公の施設に係る指定管理者の手續等に関する条例の一部を改正する条例制定について【政策経営室】
  - 留萌市自治基本条例の見直し検討状況について

- 市政懇談会「留萌子ども夢物語」、市民アンケート他6件【産業建設部】
- 平成23年度除雪計画について
- 行政報告「日本海側拠点港の選定」他1件【教育委員会】
- 平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・報告書（平成22年度事業対象）について
- 幌糠小学校の閉校問題について【各所管共通】
- 12月補正予算について

## 第2 常任委員会

- 《平成23年10月5日開催》報告及び審議事項【市民生活部】
- 自由ヶ丘団地法面崩壊の状況について
- 旧留萌市ごみ処理場法面崩壊の状況について《平成23年10月17日開催》報告及び審議事項【市民生活部】
- 平成23年度補正予算（案）について【健康福祉部】
- 平成23年度補正予算（案）について《平成23年10月26日開催》報告及び審議事項【市民生活部】
- 国民健康保健事業の概要と見通し・国民健康保険税賦課限度額（73万円から77万円に引き上げる）の改正について
- 第23年第4回国民健康保険運営協議会の開催結果について
- 《平成23年11月1日開催》報告及び審議事項【市立病院】
- 留萌市立病院改革プランについて・改革プランの方向性・目標達成に向けた具体的な取り組み・収支見込み
- 《平成23年11月8日開催》報告及び審議事項【市立病院】
- 留萌市立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・リハビリテーション科を診療科目に追加。
- ・施行日を平成23年12月1日とする。

- 平成23年度病院事業会計補正予算（第1号）の概要について
- 病院事業会計収支見込について《平成23年11月25日開催》報告及び審議事項【市民生活部】
- 平成23年度補正予算（案）について
- 留萌市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 自由ヶ丘団地法面災害復旧工事について
- 下水道整備に係るアンケート調査の結果について【健康福祉部】
- 平成23年度補正予算（案）について
- 留萌市健康づくり交流センターの指定管理者の指定について
- 留萌市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- フッ化物洗口の集団実施に慎重な対応を求める陳情の処理状況について
- 介護保険給付金請求事件について、訴訟の経過報告について【市立病院】
- 平成23年度病院事業会計補正予算（第2号）の概要について
- 平成23年度患者集計表（10月分）について《平成23年12月8日開催》報告及び審議事項【市民生活部】
- 小型電子・電気機器回収事業について
- 《平成23年12月9日開催》報告及び審議事項【市民生活部】
- 小型電子・電気機器回収事業試行計画について
- ・目的 平成25年度からの新たなごみ分別収集の検討に向けて、試行的な取組として小型電子・電気機器を回収し、レアメタルなどをリサイクルすることにより、市民に対する再資源化意識を高めるとともに最終処分場の延命化を図ることを目的とする。また、事業試行で得られた課題等を検証し、今後の新たなごみ処理体制に生かすものとする。
- ・事業試行期間 平成23年12月12日～平成24年3月31日

## もくじ

- P 14 平成23年第4 回定例会議決事項
- P 15 常任委員会の動き
- P 16～19 第4 回定例会一般質問項目
- P 19 留萌消防組合議会
- 留萌南部衛生組合議会ほか

# 議会です こんにちは

## 議案

- 第57号 平成23年度留萌市一般会計補正予算（第6号）
- 第58号 平成23年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 第59号 平成23年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 第60号 平成23年度留萌市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 第61号 平成23年度留萌市水道事業会計補正予算(第2号)
- 第62号 平成23年度留萌市病院事業会計補正予算(第2号)
- 第63号 留萌市健康づくり交流センターの指定管理者の指定について
- 第64号 留萌市公の施設に係る指定管理者の指定手續等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第65号 留萌市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第66号 留萌市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

## 意見書

- 第22号 原子力発電からの脱却と安全最優先の自然エネルギーの推進を求める意見書
- 第23号 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書
- 第24号 視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書
- 第25号 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書
- 第26号 鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
- 第27号 災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書
- 第28号 円高から中小企業を守る対策を求める意見書
- 第29号 第5次留萌市総合計画後期基本計画策定に関する意見書

## 議会活性化推進特別委員会の 中間報告

委員長 野崎 良夫

第三回定例会で設置された議会活性化推進特別委員会の調査研究項目は、「①議会基本条例②議員定数③議員報酬④政務調査費⑤議会運営⑥情報の公開と共有⑦市民参加⑧その他の活性化」であり①～④の項目は、全体会議で取り扱い⑤～⑧の項目は、二つの小委員会を取り扱うこととした。

期間は、調査研究が終了するまでとし、審査にあたっては十分審議を尽くし、全員の合意形成を十分図るなど、慎重に取り扱うことを確認した。

## 第5次留萌市総合計画後期基本 計画に関する特別委員会報告

委員長 松本 衆司

総合計画の基本構想で掲げたテーマ「誇りと満足を目指す みなとまち留萌」の実現に向けて、市民市役所と共に力を合わせ、オール留萌で取り組んでいくことが、留萌市議会の責務であることから、全議員をもって構成された当委員会は、98にもよる施策分類に対処するため、所管別に三つの小委員会を設置し、効率的に審査を重ね、過去の議会での審議等も踏まえて、現状に即した意見集約が出来た。今後、計画を基にした事業の具体化の際には、所管の枠を越えた横断的な取り組みを期待する。

## 総務文教小委員会

小委員長 野呂 照幸

総務部、教育委員会、各行政委員会の所管事項41項目について、週一回のペースで開催検討し、内容の取りまとめを10月末までに行い、特別委員会の全体協議で最終決定した。検討内容については、前期計画の現状と課題についても検討し、後期計画の目指す成果と方向性について集約した。

と方向性について集約した。

総務文教に係る全体意見としては、それぞれの所管の枠を越えた横断的な取り組みが必要であり、今後五年間の留萌市の方向性となる基本計画に反映されることを期待して審査結果をまとめた。

## 民生小委員会

小委員長 坂本 茂

五名という少人数の小委員会、市民生活部・健康福祉部・市立病院に関する三十三項目にわたる事業について審議を行った。

担当所管がまとめた前期計画の取り組み（施策の成果・効果、現状と課題、後期計画に向けての施策の方向性、目指す姿を読み込み、「後期計画に向けての施策の方向性」に焦点をおいて審議。

審議を終えての感想は、議員歴三期から十期の議員による小委員会でしたが、一つ一つの事業について真摯な審議が行われ、自らの理解が深まったこと。総合計画に対する議員としての在り方をより積極的に考え直す良い機会となった。

## 産業建設小委員会

小委員長 村山 ゆかり

「誇りと満足を目指す みなとまち留萌」を提唱する第5次総合計画前期5年間の成果指標と達成状況を確認しながら、後期5年間の方向性について6回に渡る協議を行った。

産業建設小委員会は、産業建設部が所管する雇用・労働、商店街、農林水産業、消費生活、除雪・公園、留萌港など29事業について審査。地場産業振興促進や協働のまちづくりの観点での生活環境整備など、るもいの目指す姿を実現するための戦略プログラム（案）に対する意見をまとめることができた。委員会を出された意見が、今後の事業執行において有益な方向性を導くものとなることを期待する。

平成23年第4回定例会

一般質問と答弁を  
ご紹介いたします

村上 均 議員  
(留萌公明党)

問一 災害に強いまちづくり

三月十一日の東日本大震災から九カ月、本市に置いてもこの震災を教訓に市内全体の防災計画の見直し検証を進める上での課題と津波ハザードマップの整備方針を聞きたい。

答一 避難所は災害ごとの指定を考えている。収容人員や海拔など検証し、四十三箇所有る現在の避難所で十分か検証し、防災会議での決定を目指す作業を進めたい。津波ハザードマップは東日本大震災に伴い作業を中断している。道からは新たな地籍調査が必要として、二十四年度中の見直しは難しいとの報告を受けており、これまでのデータに新たな情報を加えたハザードマップを二十四年度中に作製したい。

問二 環境政策について



礼受牧場の風車

環境基本計画に基づくクリーンエネルギーの利用推進に対する取り組みと市の風力発電の実績と今後の可能性をどう考えているか聞きたい。

答二 バイオマス資源エネルギーや雪氷による冷熱エネルギーの活用などを検討してきた。留萌の風力発電施設は発電能力四百kWの風車が六基七百四十kWが4基設置されており、年平均発電量は八百万六千kWで比較的安定している。今後は送電線の容量や風況調査による適地確保などの課題があるが、関係機関と情報を共有し、研究検討を重ねたい。

村山ゆかり 議員  
(萌芽クラブ)

問一 新・財政健全化計画と市立病院改革プランの見直し

新・財政健全化計画の3年間の重点期間が過ぎ、見直しの方針について復活の優先順位を含め重点項目を伺いたい。市立病院改革プランの見直し概要と看護師確保対策について伺いたい。

答一 今後の収支計画に大きな影響が出る地方財政計画をもとに見直しを判断することになるが、市民負担を強いている固定資産税、軽自動車税を最優先で回復、温水プールも再開と職員給与の回復も検討していきたい。

改革プランの目標は概ね達成していることから、回復期リハビリ病棟の開設、総合内科医の育成等を追加、救急対応部門の医師体制の強化など重点的施策としている。

問二 地元雇用への期待  
大学卒業後に故郷での就職

答二 新年度に向けて、新築を対象に入れるなど内容の拡充について内部で検討している。しかし、留萌市の財政状況、それから全体的な税負担についても考慮しないと、新築も対象とすることに市民の理解を得るのはまだ難しい。

菅原千鶴子 議員  
(民主クラブ)

問一 市立病院を基点とした災害対応について

災害拠点病院として認定を受けている市立病院を中心に



市立病院で行われている機能回復訓練

を考えている学生が増えている。Uターン就職を受け入れるための制度を充実すべき。留萌市として何らかの支援はできないか。

答二 留萌市のUターン促進事業は、新卒者を対象として

災害時の連携体制を構築し、全市的な訓練が必要だと思う。マニュアルを作り、シミュレーションし、ぜひ実行してみたいかがか。

問二 小中学校の適正配置と市民理解について

突然の沖見小学校閉校提案に市民やPTAの中に多くの不満がある。閉校時期や登下校の安全、児童に与える影響地域の衰退など多くの意見が出ているがどう対処するのか。

答二 計画の実施にあたっては、学校としての教育的役割だけでなく、地域に果たしてきた歴史的文化的役割や機能地域事情にも十分配慮し、保護者地域住民と十分協議し、理解を得ながら進めていく。



みなとオアシスのシンボルマーク

問三 留萌港利活用計画とみなとオアシス登録について

港を中心とした事業の展開にみなとオアシス登録の推進をしてはどうか。

答三 みなとオアシスにはにぎわい創出や中心部への誘導にも有効であり、地域活性化に資するものだ。親しめる港づくりを目指す。

坂本 茂 議員  
(無党派)

問一 「新・財政健全化計画」の見直しについて

市は収入を増やすためにどのような努力をして来たか。「計画」の見直しに当たっては固定資産税と軽自動車税の値上げを戻すことや、温水プール再開を優先的に考えるべきと思うが如何か。

答一 交付税を担当する国の関係先に機会をつくって要請



住宅改修工事

問二 地域経済活性化について

建築関連業者の仕事を増やすことは、地域の経済活性化にとっては喫緊の課題。新年度に向けて住宅改修促進助成事業の継続をはかること。新築や省エネ工事も対象にするなど内容の拡充を図って頂きたい。道内では新築に対して百万円から三百万円の助成をする自治体が三十五。百万円以下を含めると五十四自治体で新築にも助成をしている。如何か。

松本 衆司 議員  
(萌芽クラブ)

問一 安心安全なまちづくりのために

町内会での自主的な防災対策など、市民が主役の協働のまちづくりでは、自治基本条例の精神が基礎となる。自治基本条例に関する理解度、浸透度を深めるために、どのような対応をしているのか。災害時の避難路の確保は重要な課題である。避難路としての「見晴通」をどう考えるか。

また、さまざまな災害の状況に応じて、自主防災組織が機能することが出来るように、どのような対策を講じるのか。また、災害時要援護者避難支援プランの策定はいつか。答一 自治基本条例は理念や基本原則というルールを形に



千鳥町自由ヶ丘、法面災害現場

したものであり、理解度を深めることは難しいものであるが、今後も、機会あることに周知を図り、自治の三原則である情報共有、市民参加、協働を実践する中で、理解、浸透を図っていく。「見晴通」は、高台地区に通ずる主要幹線道路の位置付けに加え、行き止まり道路地域の解消や、防災機能も兼ね備えたものとなり、重要度はきわめて高い。国の新年度予算でも防災機能拡充施策が検討されており、都市計画決定にむけて市民合意の形成を推進したい。災害対策には、自助・共助の精神に基づく自主防災組織や町内会が必要不可欠である。情報提供や支援を続けて、様々な状況への対応に理解を求めたい。

笹本 牧司 議員  
(萌政会)

問一 地域の活性化

地域の活性化を図る為市民に負担を強いている健全化計画を見直し、公共事業や観光事業に積極的に取り組んではどうか。又、職員給与削減率の緩和についてはどうか。さらに幌糠地区の活性化のためにワカサギ放流を含めた留萌ダム有効活用を図るべきではないか。

答一 健全化の見直しは市民に負担を与えている項目を優先して検討、職員給与は財政のバランスを考慮して削減率の見直しも検討したい。留萌ダムは湖面も含めて利活用については通年利用について検討している。ワカサギ釣りに関しては生態系調査の結果を参考にして今後検討したい。

問二 留萌市の防災(減災)

津波ハザードマップを早急に整備して市民に津波危険区域の情報を提供すべきだ。ま

た災害発生時の正確・迅速な情報伝達についてどう考えるか。また防災行政無線の拡声器も少なく聞こえづらい。早急な整備が必要ではないか。

津波ハザードマップは道のシミュレーションを待つて中断しているが、二十四年度中に整備したい。災害情報の伝達は防災行政無線、FM広報車でいい、メールや防災連絡員で補完する。今後エリアメールの導入、消防サイレンの活用も研究したい。防災無線の全戸配布は膨大な経費のため他の手段を研究する。



留萌ダム

鶴城 雪子 議員 (萌芽クラブ)

中心市街地活性化に対する取り組みについて

新たな法律に対応した「中

心市街地活性化基本計画」を策定し、国の認定を受けて中心市街地の活性化に取り組んでいる自治体が数多くあるが、留萌市としては活性化基本計画の今後の方向性について、どのように考えているのか伺いたい。

商店街振興組合連合会による商店街活性化事業計画策定の勉強会に市が参加し、各団体と連携を図りながら中心市街地の新たな取り組みを進めたい。

マチの拡散化、中心市街地の空洞化に対処するため、まちなかの賑わい創出、交流人口の増加を課題としたい。

留萌市の各種審議会開催にあたり、市民が傍聴するための情報と、審議会の開催結果について、どのように周知しているのか。審議委員の公募はどのように行っているのか。複数の審議会委員を兼ねている市民がいるが、より多くの市民参加のために重複就任の見直しが必要ではないか。

公募に関しては、広報誌や市のホームページへの掲載、新聞紙上での報道、町内

留萌消防組合議会報告

十二月十九日に第二回定例会が開催されました。消防組合が結成されてから初めて、一般質問が行われ、燕昌克議員、野呂照幸議員、坂本茂議員の三名が、防災体制や消防団員の処遇などについて管理職である高橋定敏市長に質問し、市長は消防庁舎改築計画について、「新・財政健全化計画期間中であり、財政と整合性を図りながら計画を進めたい」と述べ、平成二十八年六月に運用予定の消防無線のデジタル化と歩調を合わせながら、費用の低減化と効率の向上を目指す考えを示しました。その後、二十二年度決算を認定し、二十三年度補正予算案を可決し定例会を終了しました。



老朽化が進む消防庁舎

会の文書などで情報を提供しているが、定数に満たないなど周知方法に改善すべき余地があると考える。審議委員は5以上の委員を兼ねないと規定に基づいて選任している。今後は公募人数以上の応募があった場合は重複していいない人を優先するなど配慮したい。



市街地の空店舗

川口 宏和 議員 (萌芽クラブ)

基礎学力問題について 全国学力テストでは成績がふるわず非常に低迷が続いている。この結果を踏まえ留萌市として現状と課題をどう捉えているか、また「朝食」「家庭学習」「宿題」は相互に密接な関係があると文部科学省か

ら発表されているが、子ども達の生活習慣の改善に対しての取組みを聞きたい。子ども達の学力向上には複数の教師による授業が効果的だが今年度実施した学習補助員を継続する考えがないか聞きたい。



小学校の授業風景

学力テストの結果で明らかになった課題の解決に向け、これまでの取組みを精査、検討し今後の改善に役立てたいと考えている。また生活習慣の改善に対しては各家庭に生活習慣の定着が図られるようパンフレットを作成し家庭における望ましい生活のあり方を学校、家庭と連携して啓発していく。

留萌南部森林管理署「育樹祭」について

平成二十三年十月十二日に留萌ダム周辺にて開催された「育樹祭」に留萌市森林林業林産業活性化推進議員連盟の活動として野崎良夫・笹本牧司・菅原千鶴子・燕昌克・鶴城雪子・坂本茂・村上均・坂本守正・川口宏和の九名が参加しました。留萌振興局によるトドマツ人工林の現状や有効活用方法等の説明の後、幌糠国有林に入り、トドマツの枝打ちなどを今年も実施し、持続可能な森林整備事業の重要性を再認識しました。



トドマツの枝打ち作業

議会を傍聴して

先日はじめて議会を一部傍聴させていただきました。全国の中で下位に位置する留萌の小中学校の学力テストの結果を踏まえ、学習補助員の予算を増強する提案がありました。基礎学力だけでなく、留萌に生まれ育ったからこそ学べる総合的学習にも活かして頂きたいと感じました。市民を代表する議会で、現状の改善はもちろん、この地域ならではの未来へのチャレンジを具体化し、市民に近い市議会であっていただきたいと思いました。 中出 靖彦

議会広報特別委員会



菅原千鶴子 (委員長)・鶴城 雪子 (副委員長) 天谷 孝行・川口 宏和・燕 昌克

野崎 良夫 議員 (無党派) 二十三年度の緊急雇用創出事業として小学校五校、中学校二校に退職教諭による学習補助員を配置し複数教諭による授業体制をとっている。学校側からも高い評価を頂き、校長会などを通じて来年度の配置について要望が出されており市教委としても検討したいと思う。

財政健全化計画について

市民および、市職員の犠牲と協力の上に成り立っている「財政健全化計画」は、重点期間の三年が経過しようとしている。連結実質赤字比率の解消、病院事業会計の単年度黒字の達成、交付税の増などにより収支は改善されている状況の下、「重点期間の検証、見直し重点項目、今後四年間の計画」について伺いたい。 職員的生活面や、地域経済への影響は大である。「固定資産税率等、職員給与削減率、温水プールの再開など六項目を見直し項目として位置付け、その他の項目は

継続する方向である。



留萌市温水プールぶるも

森林林業再生プランについて

今年国連が定めた「国際森林年」である。人々の為の森林を国際テーマに、世界中において森を守る運動が展開され、国においては「森林林業再生プラン」を法制面で具体化する法律も一部改正されている状況の下「再生プラン」に対する考え方、市の森林整備計画について伺いたい。

留萌市総面積の約八〇%を占める森林資源を活用することが不可欠と考える。「国の再生プラン、道の留萌地域森林計画を基本に今年度中に留萌市森林整備計画を策定」することとする。